

令和8年8月21日

生成 AI の利活用等に係る連携協定を締結 ～Polimill 株式会社と連携し、行政実務への生成 AI 活用を推進～

1. 趣旨・経緯

河内長野市では、行政 DX 及び業務効率化を推進するため、「河内長野市生成 AI 利用ガイドライン」を策定し、生成 AI サービスの業務活用を進めています。

人口減少や少子高齢化が進み、行政課題や市民ニーズが複雑・多様化する中、限られた人員や財源で持続可能な行政運営と質の高い市民サービスを両立するためには、生成 AI を行政実務で適正かつ効果的に活用することが重要です。

このたび、生成 AI サービス「QommonsAI(コモンズ AI)」を提供する Polimill 株式会社と連携協定を締結し、同社の技術的な知見や活用事例と、本市職員が行政現場で得た実践的な知見や意見を相互に共有することで、本市における生成 AI 活用の深化と、コモンズ AI の継続的な機能向上を目指します。

2. 協定締結式

日時:令和8年8月24日(月)15時から

場所:河内長野市役所 3 階 庁議室

協定名:「Polimill 株式会社×河内長野市 生成 AI 利活用に係る協定」

3. 主な連携事項

本協定では、主に次の事項について連携・協力します。

- (1)「QommonsAI」の活用による行政実務の効率化・適正化及び施策立案の支援
- (2)法制執務をはじめとする自治体特有の専門的分野への「QommonsAI」活用
- (3)本市が設置する生成 AI 活用に関する生成 AI 利活用推進プロジェクトチームへの技術的支援
- (4)「QommonsAI」の機能開発・改善に向けた共同研究及び意見交換
- (5)本市職員の「QommonsAI」活用能力の向上
- (6)その他、双方が合意した取組

4. 今後の展開

Polimill 株式会社から、本市の職員に対して、次の支援を受ける予定です。

- (1)Polimill 株式会社と生成 AI 利活用推進プロジェクトチームメンバーとの意見交換
- (2)「QommonsAI」の操作に関する助言及び活用事例の共有
- (3)新たに開発された機能・サービスをテスト利用する機会の提供

本市は、これらの支援を受けながら、行政実務における効果的な活用方法や利用上の課題を実践的に検討します。また、職員が行政現場で得た知見や意見を同社に提供し、「QommonsAI」のさらなる機能向上につなげます。

5. 生成 AI 利活用推進プロジェクトチームについて

本市では生成 AI の利活用推進に向けて庁内から参加職員を募集し、「生成 AI 利活用推進プロジェクトチーム」を設置しております。

同プロジェクトチームでは、研修プログラムの受講に加え、各自の担当業務における生成 AI の活用可能性を検討し、効果検証や庁内展開に向けた意見・アイデアの整理を行います。

6. Polimill 株式会社について

Polimill 株式会社は、「のこしたいみらいを、ともにつくる」をミッションに、行政サポート生成 AI「QommonsAI」と、誰もが安心して簡単にまちづくりに参加できる SNS「Surfvote(サーフボート)」を開発・運営する ICT スタートアップです。

すべての人がルールづくりに参加できる、理性と感性を備えたデジタル駆動型社会の実現を目指しています。

会社名: Polimill 株式会社

所在地: 東京都港区虎ノ門 3 丁目 8 番 27 号

代表者: 代表取締役 CEO 伊藤あやめ、代表取締役 COO 谷口野乃花

事業内容: 行政サポート生成 AI「QommonsAI」、SNS「Surfvote」の開発・運営

【お問い合わせ先】 電話0721-53-1111

河内長野市 総務経営局 総務資源部 総務課